

和歌山病院での実習を終えて



岩崎 朝香

今回、私は呼吸器内科での臨床実習の一環として、11月20日、21日の2日間にわたって和歌山病院で実習をさせていただきました。大学病院とは違った環境で勉強する機会を与えていただき嬉しく思います。

駿田副院長の結核についてのセミナーでは、感染様式について教えていただきました。

普段大学病院での実習では感染対策が必要な患者さんの病室へ入室するのは先生方のみで学生は入室しない場合が多いのですが、今回N95マスクを実際に着用し、陰圧管理などの感染対策を実際自分の目で見て、肌で感じる事が出来、ただ机上で学ぶよりもずっと印象づきました。また、結核病棟には今までどちらかという閉鎖的で暗いイメージを抱いていましたが、和歌山病院の結核病棟は他病棟からほとんど離れておらず明るく綺麗で、閉塞感はあまり感じず患者さんのQOLに配慮されているように感じました。

南方院長のセミナーでは胸部X線の原理と読影方法について教えていただきました。

これまで読影には苦手意識があったのですが、読影の基本的なポイントを押さえることができました。またブロンコ体操を通して、体を使って肺区画をわかりやすく覚えることができました。白と黒が接しているときだけ線が出来るという原理とブロンコ体操を組み合わせるとシルエットサインが非常に理解しやすくなり感激しました。これからの実習で今回教えていただいたことを思い出しながら読影していきたいと思います。また今後多くの症例を経験することでさらに詳しい所見まで読影できるようになりたいと思います。

2日間という短い間ではありましたが、呼吸器内科に関する知識にとどまらずその他の領域でも必要な多くの知識を得ることが出来た充実した実習でした。私は選択ポリクリでもまた和歌山病院にお世話になる予定ですのでどうかよろしく願い申し上げます。最後になりましたが、ご指導いただいた南方院長、駿田副院長、スタッフの方々に厚く御礼申し上げます。